

急性腎不全とは

突然腎障害が起こり、急速に進行した状態です。

急性腎不全では腎機能が突然数時間から数日で急激に低下します。

腎臓が担っている、体のイオンバランスの調節や老廃物の排泄等の機能も低下するため身体機能を保てなくなる致死率の高い状態です。

＜原因＞

- 中毒(グリ、除草剤、不凍剤等の誤食)
- 腎盂腎炎
- 熱中症
- 重度の脱水
- 尿道閉塞
- 尿管結石 等

＜症状＞

- 脱水
- 嘔吐
- 食欲低下
- ぐったりしている
- 尿毒症
- けいれん 等

尿を産生する働きが低下して乏尿(尿の産生が異常に少ない)や無尿(尿を全く作らなくなった)になると、毒素を体外に排泄できなくなり非常に危険な状態となります。



＜治療＞

尿道閉塞が原因の場合は緊急で閉塞箇所を解除してあげる必要があります。

しかし高カリウム血症を併発していることが多く、急な心停止を起こす恐れがあります。

尿管結石の場合は開腹手術が必要になります。しかし急性腎不全の状態では全身麻酔のリスクが高いため、まず点滴などで状態を改善させてからの手術が検討されます。

◆ 点滴

脱水の改善、イオンバランスの正常化、尿毒素の希釈・排泄を目的として点滴を行います。

基本的には入院して静脈点滴です。

電解質や尿毒素の数値をこまめに血液検査で確認しながら、薬剤や点滴の量を調節する必要があります。

◆ 尿量の計測

重度の急性腎不全で、尿が腎臓でほとんど作られなくなり、乏尿あるいは無尿になった場合は、尿道から膀胱に尿カテーテルという管を設置し、尿量を計測しながら、利尿剤などを使用します。

◆ 食事療法

尿毒素の原料となるタンパク質を制限した腎臓病用療法食を使用します。

尿石症による尿道閉塞の場合は、尿路疾患用の療法食も選択されます。

自分から食事を摂るようになるまでは時間がかかることが多いため、鼻にカテーテルを入れて流動食を流し入れることで栄養管理をすることがあります。

※治療によって命を取り留めても、腎臓が強い障害を受けた影響で慢性腎臓病に移行することがあります。